

② 次世代省エネ基準



- 「次世代省エネルギー基準(平成11年省エネルギー基準)」は、日本の住宅の省エネルギー性を高めるために、断熱や気密などに関する基準を定めたもの。

- (1) 住宅に係るエネルギー使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断基準
(経済産業省・国土交通省告示第3号)
- (2) 住宅に係るエネルギー使用の合理化に関する設計、施工及び維持保全の指針
(国土交通省告示第378号)

主な基準値

$$Q \text{ 値} = \frac{\text{建物から逃げる熱量(W/K)} \times 1}{\text{建物の延床面積(m}^2\text{)} \times 2}$$

熱損失係数



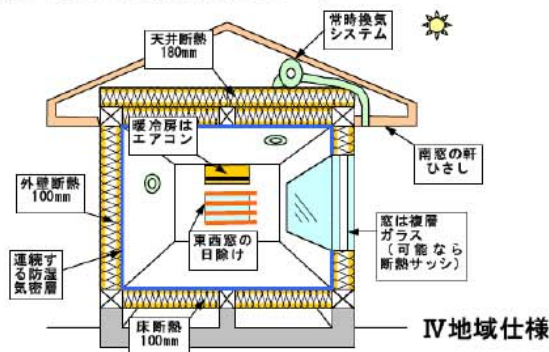
(出典:NEDOホームページ)



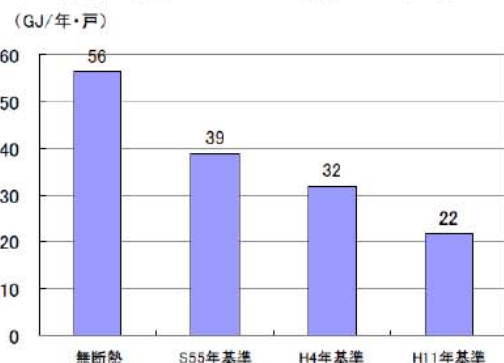
② 次世代省エネ基準



●木造戸建住宅の断熱化のイメージ



●年間暖冷房エネルギー消費量※の試算



●基準ごとの断熱仕様等の比較

項目	S55年以前	S55年基準	H4年基準	H11年基準(現行基準)
性能基準	熱損失係数	—	5.2 W/(m ² K)以下	4.2 W/(m ² K)以下
	相当隙間面積	—	—	—
仕様基準	断熱材(外壁)	なし	グラスウール30mm	グラスウール55mm
	断熱材(天井)	なし	グラスウール40mm	グラスウール85mm
	開口部(窓)	アルミサッシ+単板	アルミサッシ+単板	アルミサッシ+単板
年間暖冷房費※	約13万3千円/年	約9万2千円/年	約7万5千円/年	約5万2千円/年
年間暖冷房エネルギー消費量※	約56GJ	約39GJ	約32GJ	約22GJ

※ 一定の仮定において、国土交通省において試算。

(出典:国土交通省 資料)

